

スポーツ鬼ごっこのコートサイズの考え方

(鬼ごっこ総合研究所 客員研究員)岡村尚美

キーワード: スポーツ鬼ごっこ・コートづくり

■背景

スポーツ鬼ごっこは、教育やレクリエーションの一環から全国大会レベルの競技会まで様々なシーンで活用されている。会場の大きさや参加者の人数、運動能力によって、適切にコートサイズのカスタマイズすることは、今後より広くスポーツ鬼ごっこを普及していくうえで重要なスキルの一つである。

■目的

本発表では、スポーツ鬼ごっこのコートサイズに関して、著者および聴講者の認知度合を確認するとともに、7人制の公式大会準拠でないケースに対してどのようにコートサイズを変更するとよいか、現行のコートサイズの考え方をもとに検討することを目的とする。

■コートサイズの重要性

スポーツ鬼ごっこに関わらず、コート全体のサイズ、各エリアのサイズおよびその距離は戦略・戦術やゲームの流れに影響を与える。教育やレクリエーションの一環で実施される公式戦以外のゲームにおいては、参加者の人数や会場の規模に合わせて、コートサイズを任意に変更できる能力が必要である。特に、スポーツ鬼ごっこは、ボール等を使わないためプレーヤー間の距離を第一に考慮することが重要である。

■コートサイズの考え方

図1はスポーツ鬼ごっこの公式戦の一般的なコートの概略図である。縮尺は必ずしも現物とあっているわけではなく、重要な寸法が視認しやすいように編集されている。図2は、図1のコートの原寸をもとに各寸法の縮尺を正確に記述した図である。図2に基づきコートサイズの特徴を見ていくと、例えば以下のようなことが確認できる。

- Sエリアの大きさ
 - 2人でふさげない程度
- Tサークルの円周
 - 7人が手をつないで守り切れない程度
- エンドラインからTサークルまでの距離
 - 人がすれ違える程度
- 縦と横の長さ
 - センターラインと両Sエリアからトレジャーまでの距離が等しい

このように、コートの各サイズや形がどのような理由で考えられているのかを知ることで、様々なシーンにおいて適したコートのカスタマイズが容易になると考えられる。

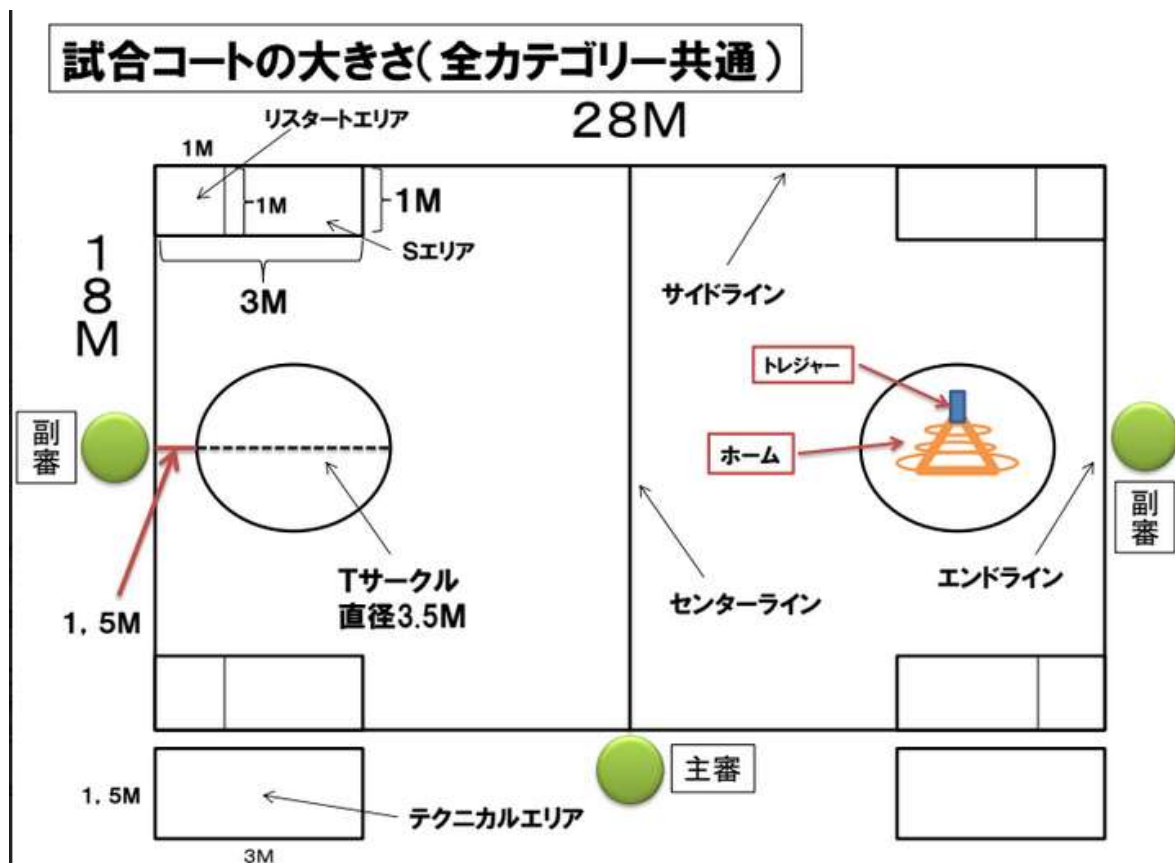


図1. 一般的なスポーツ鬼ごっこのコート概略図
(第7回スポーツ鬼ごっこ全国大会 in 大和 審判資料 より引用)

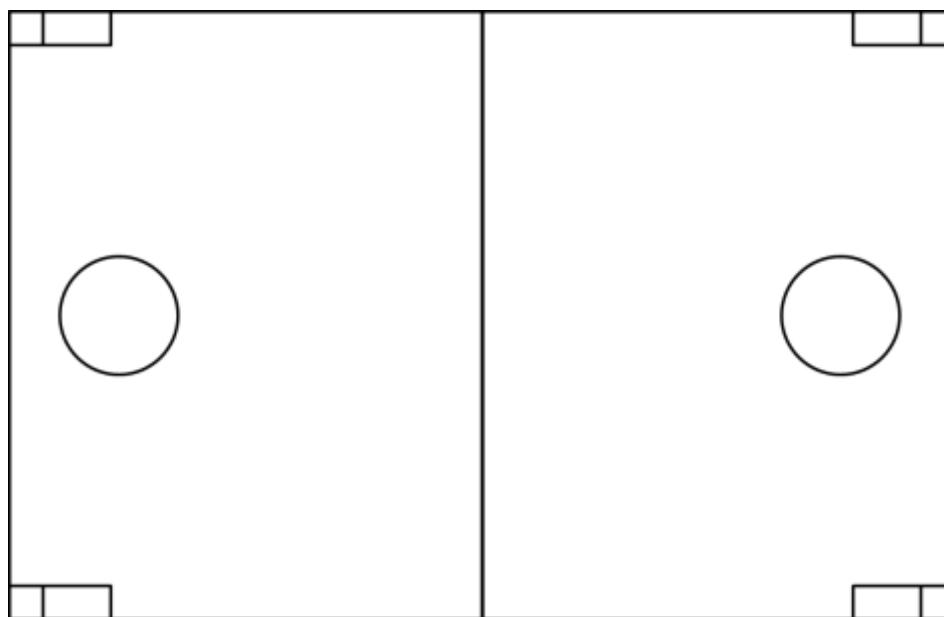


図2. 原寸に対する縮尺があっているスポーツ鬼ごっこのコート図